

■はじめに

「小平 市民版環境配慮指針 小平流暮らしの工夫」は、市民グループであるエコダイラネットワークが主体となって作成した、環境に優しい暮らし方のアイデア集です。この内容を、家庭生活や学校生活での実践につなげてもらうことを目的に、小平第十二小学校で出前授業を実施しました。

この授業は、市民や事業者とのワークショップをはじめ、小学校や大学とも連携し、多様な主体の参加と協働によって進めることができました。

■出前授業の概要

テーマ	環境に優しい暮らし方～今日からわたしにもできること～
目標	環境意識を高め、自ら「地球に優しい行動」ができる児童の育成
対象者	小平第十二小学校 5年生 (2クラス)
日程	1 単位目 : 平成 28 年 10 月 14 日 (金) 2 時間目 (5 年 1 組)・3 時間目 (5 年 2 組) 2 単位目 : 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 2 時間目 (2 クラス合同)・3 時間目 (2 クラス合同)

■ 1 単位目の内容

地球温暖化を止めるために、家や学校で自分たちにできることを考えよう

①ウォーミングアップとして、「環境に関するクイズ」に班のメンバーと協力して回答を考えてもらいました。

②地球全体の平均気温が少しずつ上がっている現象である「地球温暖化」問題によって、世界各地ではさまざまな影響がでていること、地球温暖化は私たちの暮らしと密接に関係していることをスライドを見ながら学習しました。

③地球温暖化を止めるために、家や学校でできることについて、班ごとに考え、発表しました。



各班の発表の内容 (抜粋)

- ・部屋でテレビを見ないで外で遊ぶ
- ・できるだけみんなで同じ部屋で過ごす
- ・お米を研いだ後の水を桶にためて、汚れた食器をつけておく
- ・トイレトペーパーを使いすぎない
- ・お風呂から出る時はふたをすぐに閉める
- ・買い物に行く時はエコバッグを持っていく

④市民版環境配慮指針「小平流暮らしの工夫」を見ながら、各班から出たアイデアの他に、どのようなエコ実践があるのか学習しました。そして、各自でこれから家や学校で取り組むことを「エコ・チャレンジの木」に書いて1単位目の授業を締めくくりました。



第2問

アサガオやゴーヤのようなつる性の植物を窓の外に育てて、夏の暑さを防ぐことをなんといつかかな？

- ① 緑のカーテン
- ② 緑のたれまく
- ③ みどりの窓口

答え ①  
緑のカーテンは夏の日差しをやわらげてくれるだけでなく、部屋の温度が上がるのを抑えてくれるので、省エネにもなります。



1 単位目の授業は、東京学芸大学の学生3人が中心となり、進めていただきました。

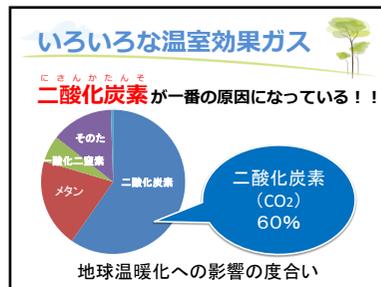
## 2 単位目の内容

### 太陽光とエネルギー

① 私たちの生活に必要な電気を作るときに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が排出されること、地球温暖化を止めるためには節電などの省エネが重要なことをおさらいしました。さらにこの授業では、二酸化炭素を出さない電気をつくる方法の一つである太陽光発電について学習することを講師の先生から伝えました。



2 単位目の授業は、工学院大学の先生と学生 7 人が中心となり、進めていただきました。



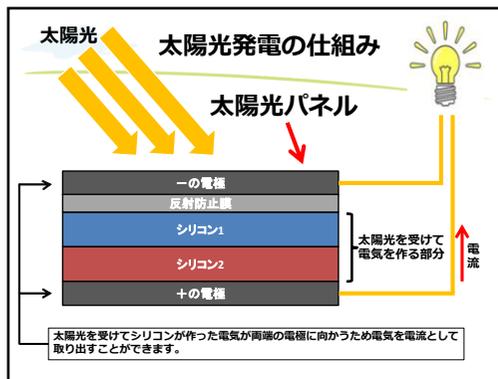
### 二酸化炭素をたくさん出すところ？



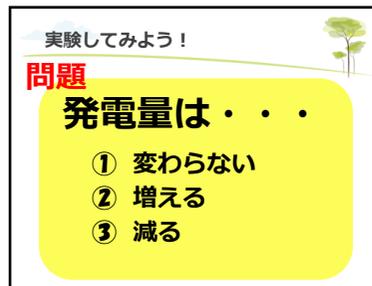
② 小平第十二小学校に設置されている太陽光発電システムについて、屋上からの担任の先生のレポートにより学習しました。太陽光パネルの大きさは？厚さは？枚数は？などなど、普段は校庭からしか見ることができない太陽光パネルのことを、詳しく知る機会になりました。



屋上と児童が学習する多目的室をスカイプ中継しながらの授業です。



③ 太陽光発電の実験です。太陽光パネルにブルーシートをかぶせると、発電量はどのようになるかな？



実験の結果を予想し、児童それぞれが自分の考えを発表しました。



屋上では太陽光パネルにブルーシートをかぶせ、多目的室ではスクリーンで発電量の変化を観察します。結果は・・・ブルーシートをかぶせる前の発電量の約半分に減りました。

### ■おわりに

地球温暖化問題が自分たちの生活と関わっていることを学習し、児童一人ひとりがより主体的に、環境配慮行動を意識し実践してくれることが期待できる内容となりました。

多様な主体の参加と協働により、『小平市第二次環境基本計画』の基本目標の一つである「みんなが環境について考え、行動するまち こだいら」を一歩進めることができました。



屋上では担任の先生とソラミとの掛け合いも・・・

### 小平第十二小学校出前授業パートナーシップ

小平第十二小学校教員、東京学芸大学の研究員及び学生 4 人、工学院大学の教授及び学生 8 人、エコダイラネットワークメンバー 5 人、環境配慮事業者連絡会参加事業者 1 人、環境政策課 4 人